

令和5年度 浜松市立竜禅寺小学校 学校評価報告書（別葉）

1 自己評価

(1) アンケート結果

アンケート設問	保護者	教職員
学校は、いじめのない学校や学級、環境づくりに取り組んでいましたか。	85.1%	97.2%

(2) 考察及び改善方策

保護者のアンケート数値は、昨年度の80.6%から4.5%上昇した。昨年度まで4月下旬に希望制の家庭訪問と自宅確認を実施していたが、本年度は、同時期に学校において全保護者と児童、学級担任でキャリア・カウンセリング（三者面談）を実施する形をとった。その中で「竜禅寺小学校いじめ防止基本方針」の「家庭の役割」の内容を説明し、学校と保護者が協力して指導を行うことを確認したことや、いじめ事案の対応の仕方が良い評価となって表れたと考える。

教職員のアンケート数値は、昨年度の88.2%から9%上昇した。保護者と同様に4月にキャリア・カウンセリングを実施したことが良い評価になって表れたと思われる。また、毎月開催したいじめ対策委員会において、いじめについての情報共有をしたり、いじめの対応に関する研修を実施したりしたことで、いじめの定義を教職員間で共通理解できるようになり、積極的ないじめの認知につなげ、対応したことも良い評価になって表れたと考える。

来年度も、4月のキャリア・カウンセリング実施を継続し、いじめ対応について保護者と共通理解していくようにする。また、いじめ対策委員会では、「はままついじめアンケート」実施後の対応について話し合い、共通理解して対処できるようにしていきたいと考える。

2 学校関係者評価

2月20日（火）に開催した学校運営協議会において、自己評価結果、考察及び改善方策について委員に報告し、以下のような意見があった。

- ・ それぞれの事案に、教師が一つ一つ丁寧に対応していることが分かった。
- ・ 大勢が生活していく中で、多少の仲間外れはあるものと思う。子供は、そうなったときに、どのように行動したらよいかを考えることが大切だと思う。将来、自分で考えて行動できる大人になってほしい。周囲の大人は、子供の訴えを聞き、これからどうするかを一緒に考えることが必要だと思う。子供の話をしっかりと聞いてあげるのがよい。
- ・ 周囲の大人が子供の変化を見逃さないことが大切である。
- ・ 授業を参観する中で、友達を思いやる6年生の姿が見られた。そのような様子から、本校には、いじめはないと思うことができた。あのような姿が見られるのだから大丈夫だと思う。

3 学校関係者評価を受けた改善点

学校関係者評価を基にして、以下の点について改善を図る。

- ・ 4月に実施するキャリア・カウンセリングでは、いじめ対応の共通理解とともに、日常的に保護者と連絡が取りやすい温かな関係づくりに努めるようにし、協力体制が取れるようにしていく。
- ・ いじめ対策委員会では、「竜禅寺小学校いじめ防止基本方針」や「いじめ対応の手引き」を基にした研修を実施し、共通の解釈を基にしたいじめ対応や再発防止・未然防止の取組を同一歩調で進めていくようにする。